

(別紙様式)

業務改善の実施状況報告

組織名	大臣官房 政策課	連絡先	03-3502-8448
所管する業務の概要	・農林水産省の所掌事務に関する基本的な政策の企画及び立案に関すること ・農林水産政策研究所の組織及び運営一般に関すること ・食料・農業・農村政策審議会の庶務に関すること		

1. 職員の基本的な心構え・行動について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
(1) 接遇マニュアルを参考にして、常に国民各層に対して丁寧な対応が行われるよう心掛けている。 (2) 課内での打合せや情報交換を密に行い、個々の担当すべき業務内容を確認している。当課は省全体の施策の調整を担当しており、寄せられる問い合わせ等も多岐にわたるため、各部局の施策に関する資料の共有を図っている。 (3) 課員一人一人が政策外交員として省全体の政策・事業を対外的に説明できるよう努めている。特に、政策外交の材料となる説明資料等が掲載されている省内サイト「政策外交員のページ」の充実及び更新を頻繁に行うこととしている。	日頃から職員間のコミュニケーションを積極的に行うことにより、おおむね情報の共有が図られているものの、状況が短時間に目まぐるしく変化するような場面では、情報共有が十分に図れなかったこともあることから、ホワイトボードなどを有効に活用していくことが必要である。 また、「政策外交員のページ」は課内のみならず、広く省内で活用されていることから、その充実及び更新を引き続き行うことにより、一層円滑な情報の共有化を図る。

2. 国民視点に立った業務の遂行について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
(1) 新しい食料・農業・農村基本計画の策定にあたって、様々な形で地方自治体や地域の経済団体、NPO等との間で意見交換を行った。 (2) 国民の目に触れる資料については、図表の活用、業界	基本計画の策定にあたっては、9回にわたって全国各地での公開討論会を開催したほか、農林水産省のウェブサイト上に意見募集のページを設けるなど、充実した意見交換を行うことができた。現在策定を進めている「食」に関する将来ビジョン」について

用語を使わない等の工夫により、分かりやすい資料を作成し、理解されるよう努めている。 (3)「農林水産業の将来ビジョン」(農業編、森林・林業編、水産業編)を製作し、インターネットで公開するなど、農林水産省の施策を分かりやすく紹介することに努めている。 (4)ヒヤリ・ハット事例の収集とその共有により、事前にミスを防ぐ取組を行っている。また、審議会等で行っている意見募集や外部から寄せられた情報について、早急に対応すべき事案がある場合は、機動的に対応するよう各部局にも協力を依頼している。	も、関係者からのヒアリングを積極的に行うなど、これまで以上に意見交換を進めていくこととする。 一方、各部署の「ヒヤリ・ハット担当者」が各々の部署において事例の周知・活用を円滑に行えるようにするため、「ヒヤリ・ハット事例関係点検項目」の改定など、省内サイト「ヒヤリ・ハット事例収集・活用のページ」を充実させることとしていたが、実際には頻繁に更新することができなかったため、今後のサイトの運営方法について検討を進める。
---	---

3. 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
(1) 課内の業務については、各々の業務量に応じて適宜平準化を行っている。 (2) 組織運営にあたっては、毎週月曜日に課内全体での打合せを行い、各チームごとの主要なスケジュールや課題等を共有することで、業務の円滑な推進に努めている。 また、 (3)「報告・連絡・相談」を徹底するために、口頭のほか、メールや手書きメモの配布等により、直接の関係者だけでなく、幅広く課員が必要と思われる情報を適時共有できるように心掛けている。 (4) 両面コピーの活用等により、資源の節約に努めている。	国会業務の一部を当番制にすること等により業務の平準化が図られているほか、多くの課員が自由に意見を言い合う環境づくりも進んでいる。 また、幅広い情報共有や資源の節約といった取組については、今後とも課全体として意識的に継続・強化する。

4. その他の農林水産省改革を進めるための取組について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策